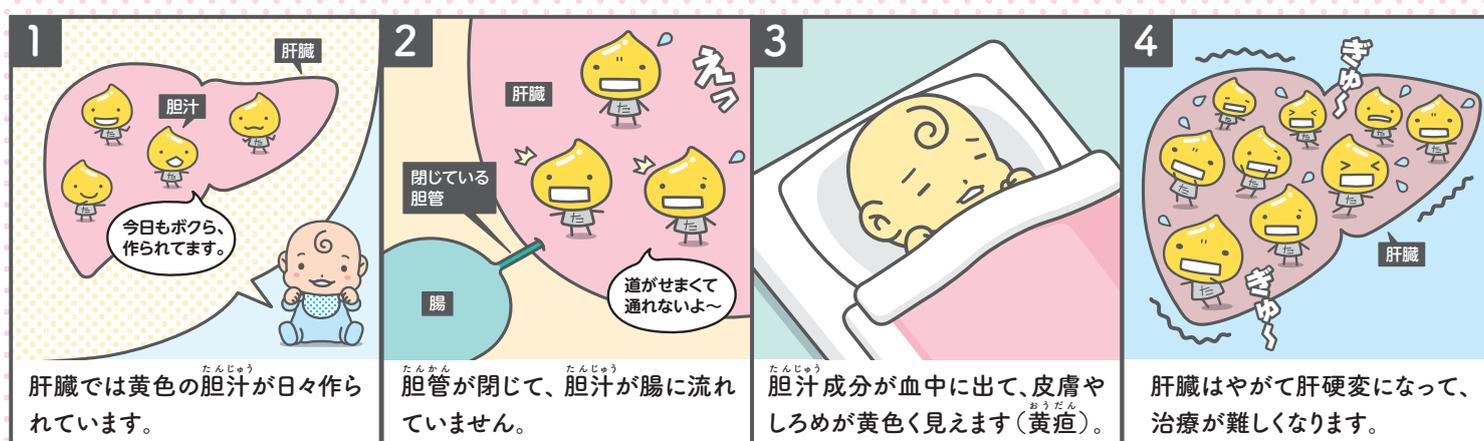


赤ちゃんのうんちの色に 注意しましょう

たんだうへいさしょう 便色カードで胆道閉鎖症をチェック!

たんだうへいさしょう 胆道閉鎖症ってどんな病気?



たんだうへいさしょう ! 胆道閉鎖症の特徴と症状

- ① 1万人に1人の赤ちゃんがかかる病気です。
- ② うんちの色がうすい黄色、うすいグイス色、白っぽい色など、便色カードの1～3番に近い色になるのが大きな特徴です。
- ③ ②のほかに、皮膚やしろめの黄疸があり、濃い黄色のおしっこが出ていたら、1日も早く、医師にそのことを伝えて、小児外科または小児科を紹介してもらいましょう。
- ④ 早期発見と早期手術で、より良い結果が期待されています。

! 発見と手術が遅れると…?

肝硬変が進行して肝不全になったり、手術をしても十分な効果が得られなかったりします。時には頭蓋内出血を生じることもあります。

便色カードについて

母子健康手帳に綴じ込んであります。

便と便色カードを見比べましょう。

※便色カードのみでは、正常・異常の判定はできません



便色カードの使い方



便色がうすく、黄疸があり、濃い黄色のおしっこなら!

1日も早く医師に見てもらいましょう。その時、なるべく新しい便を持って行ってください。